



松本市民生委員・児童委員協議会だより

第87号

令和5年4月30日

ふれあい

発行者 松本市双葉4番16号
松本市民生委員・児童委員協議会
会長 草深邦子



松本市民生委員・ 児童委員委嘱状伝達式

一斉改選に伴い委嘱状伝達式を行いました。

12月16日

新しい任期を迎えて

松本市民生委員・児童委員協議会

会長 草深 邦子

猛威を振るい私たちの日常生活を制約したコロナ感染症も落ち着きを見せ、今年度は従来の地区活動を再開できると思います。しかし地域の人々と接する機会の多い私達は十分な対策を取って活動を推進する必要があります。地域の繋がり希薄化が言われている中、私たちは常に住民に寄り添い、地域の「つなぎ役」として支援が途切れることの無いよう活動してきました。市や社会福祉協議会始め関係機関・団体との連携を図り、それぞれの「地区」の現状に合わせた活動を推進していきます。

一人暮らし高齢者・高齢者世帯の増加に伴い、これらの人々の孤立化を防ぐ為の見守り活動を強力的に推進しましょう。減ることのない「特殊詐欺」への注意喚起も訪問時や機会を見つけて推進してください。見守り活動は私達の活動の重要事項だと考えます。対象者の話を聞きその人にあった支援を考え

関連機関との相談・連絡と「つなぎ役」になりましょう。一人で抱え込まない事が大切です。「地区」単位での活動には委員全員がその地区の特性を理解し、活動の方向・方針を共有することが大切な事だと思います。

今期は320余名の新しい委員が就任しました。先輩委員は新人委員に気を配り、新任委員の孤立化を防ぎ、困り事や問題は一人で抱え込まず遠慮なく相談することが出来る開かれた地区例会にしましょう。

地区住民が気軽に声掛けが出来る、困り事を相談できる委員になるよう努力しましょう。

先ずは自身の健康に留意し焦らず一步一步皆で協力し合って活動を推進していったらと思っております。

今年は設立100周年の記念の年です。

役員名簿	P2
本年度の主な事業計画のご案内	P3
主任児童委員さんにお話を聞きました	P4
連載 今回のニューフェイス	P5

民生委員・児童委員活動事例	P6
民生委員・児童委員活動事例	P7
地区とのかかわり・つぶやき・編集後記	P8

松本市民生委員・児童委員協議会 主任児童委員会・5専門部会

役員名簿と本年度の主な事業計画のご案内

松本市民生委員・児童委員協議会では、民生児童委員活動に必要な専門事項に関する調査研究や、相互の情報交換を行うために、1委員会・5専門部会を設置し主体的な活動を行っています。本年も充実した活動をするために皆様のご協力をお願いいたします。

主任児童委員会

委員長	赤井 幸子 (中山)
副委員長	木次由美子 (神林)
会計	久保由美子 (庄内)
監事	矢吹千江子 (城北)
監事	田野口さつき (新村)
監事	清澤真由美 (城東)
河西部	伊藤 深雪 (第三)
河西部	小松 邦子 (梓川)
南部	小林美千子 (笹賀)
東山部	木下 幸子 (入山辺)

・5月22日(月)・23日(火) 【視察研修】
【未曾ねざめ学園 木曾おもちゃ美術館】

・7月10日(月) 【研修】

「松本市の子育て支援事業について」
松本市こども福祉課・こども育成課
「松本児童園について」

松本児童園園長 一柳明美さん

・9月25日(月) 【研修】

「私の子供たちへ」ぼこ・あ・ぼこ 講演ライブ

広報部会

部会長	片桐 博人 (寿)
副部会長	藤森 新一 (島立)
会計	宮沢 茂 (寿)
書記	塩原千恵子 (和田)
監事	中島 恵子 (安原)
監事	濱 俊博 (寿)
顧問	古波田 守 (波田)

・ふれあい87号
4月30日 発行
・ふれあい88号
8月31日 発行
・ふれあい89号
11月30日 発行

各号で企画会議及び編集会議を開催

社会福祉部会

部会長	大石 淑子 (白板)
副部会長	深澤加奈子 (寿)
会計	高山 正子 (島内)
書記	百瀬 尚子 (松南)
監事	大久保原子 (岡田)
顧問	白田 廣 (新村)

・4月 【研修】
支え合いマップについて
・6月 【視察研修】
・10月 【研修】
ボランティアについて

児童福祉部会

部会長	鷺澤 実男 (今井)
副部会長	渡邊 千鶴 (里山辺)
会計	二木 孝子 (梓川)
書記	古林 幸子 (松南)
監事	川上 富雄 (田川)
顧問	中山 昭 (松南)

・5月29日(月) 【研修】
児童相談所の現状と児童虐待について
・7月14日(金) 【視察研修】
児童養護施設 軽井沢学園
・9月20日(水)または26日(火) 【研修】
松本警察署より講師を招いて講演

高齢者福祉部会

部会長	岩上 友重 (松南)
副部会長	上條 弘幸 (波田)
会計	加藤美津子 (本郷)
書記	青木多美子 (白板)
監事	塚越 玲子 (寿)
顧問	川窪 茂 (和田)

・4月27日(木) 【研修】
介護支援制度について
・6月20日(火) 【視察研修】
場所未定
・9月1日(金) 【研修】
フレイル予防について

障がい者福祉部会

部会長	中田 茂 (安原)
副部会長	横山恵美子 (神林)
会計	田中美津子 (島内)
書記	小林 幸代 (庄内)
監事	百瀬 静子 (本郷)
顧問	赤羽 尚雄 (笹賀)

・4月19日(水) 【研修】
松本市の障がい者福祉制度について
松本市障がい福祉課
・6月21日(水) 【視察研修】 場所未定
・10月11日(水) 【研修】
障がい者支援について
就労継続支援施設長の講話

主任児童委員会

委員長 赤井 幸子

主任児童委員会では47名のうち30名の方が新しく主任児童委員として、各地区で活動を始めました。少しずつ日常が戻りつつある中、2年ぶりに一同に会しての総会を行い、新しいブロック長のもとそれぞれの活動を確認する事が出来ました。

広報部会

部長 片桐 博人

民生児童委員となり早四期目。その中で自身二度目となる広報部会長という大任を任される事となりました。今年度は改選期という事もあり、新任の委員の方も大勢いることと思われれます。

社会福祉部会

部長 大石 淑子

年間を通した松本児童園へのボランティア活動、赤ちゃん訪問や育児支援についての研修会など、日々の活動から学びにつながる取り組みを行なっていきたいです。よろしくお願いいたします。



児童福祉部会

部長 鷺澤 実男

コロナ禍による日常生活の制限も緩和されつつある中新たなスタートが切られました。広報「ふれあい」を通じて情報共有し、日頃の活動の一助となるよう部会長として微力ではありますが委員の皆さまや関係各位の御協力のもと紙面づくりを進めてまいりたいと思います。

今年度の児童福祉部会、会長になりました鷺澤と申します。宜しくお願いいたします。民生児童委員を引き受けて2期目ですが、1期目は新任ながら地区会長を行いました。専門部会は初めての

高齢者福祉部会

部長 岩上 友重

いマップに関する事を、6月は場所は検討中ですが視察研修を、10月にボランティアに関する研修を行いたいと思っています。役員会の時の会話で、それぞれの地区によって環境の違いもあり、社会福祉に対する取り組み方も様々で、自分の地区の中だけでは気がつかないこともあると思いました。他の地区の方との交流も大切にしたいと思っています。

3月に役員会を行い本年度の活動を計画しました。4月に支え合

今年度の高齢者福祉部会の会長になりました岩上と申します。よろしく願います。民生児童委員を引き受けて2期目になりました。1期目の1年目は引き継ぎもなく仕事の内容、訪問の仕方など自分なりに考えたり先輩に聞いたりでの1年でもありました。緊張の毎日です。1期目

障がい者福祉部会

部長 中田 茂

今年2期目になりました中田です。

1期目は社会福祉部会でした。日頃担当する地域での見守り等に励みましたが、コロナ禍により障がいのある方との接する機会が少



参加となりますが、そんな中、部会長を仰せつかりました。会員の皆様の協力を得ながら微力ながら頑張っていく所存です。

の2年目と3年目で障がい者福祉部会に入り色々と勉強させてもらいました。今、高齢化・一人暮らしと大変な状況です。一人暮らしの高齢者との訪問を私なりに多く取り入れふれあいをして行きたいと思っております。今年コロナが終息する事を願い視察研修を増やせればと考えておりますが現状では無理ではと思います。1年間勉強させていただきます。

なく、暮らしや困難なこと、取りまく環境などについて深く理解することができませんでした。これからの研修で勉強したいと思っています。

3月3日に役員会を開催し、今期の研修内容を決定しました。会員のみなさまのご協力をお願い致します。

主任児童委員さんにお聞きしました

城北地区

城北地区

民生委員・児童委員協議会

主任児童委員 矢吹 千江子

コロナ禍あつと言う間に1期3年が過ぎ2期目になりました。

城北地区は松本城の北側にあり、令和4年度こんにちは赤ちゃん事業の対象者は55人でしたが、コロナ感染者増により訪問できたのは4件でした。そして、福祉ひろばへ足を運ぶ親子が減りひと組でもいいからと、児童センターに子育て支援事業のチラシを毎月置いてもらい、イクジイに掲載したり、地区担当保健師さんの協力もあり（新生児訪問時に声がけをお願いしました）少しずつですが参加者が増えてきました。講座終了後は、ひろばに玩具を広げて一緒に遊び保護者同士で情報を交換したり、子育ての悩みを話しアドバイスと安心を貰って帰る姿もあります。マスクの制限が緩和されても以前のような生活にはまだ戻れないと思います。人との交流、地域とのつながりが少しずつ増えて、福祉

ひろばに子ども達の声が響けばこんなに嬉しいことはありません。



地域とのつながりという

点では、2月下旬に開智小学校コミュニティースクール運営委員会に出席、2期目にして初めての授業参観で、全年1クラスずつ短時間ですが教室を回り児童の様子を参観しました。協議の中でカウンセラーとの相談希望が増えている、その割合が子どもからと親からが半々ということでした。主な相談内容は、コロナ禍での登校不安・友達関係・家族の事と聞き、不登校・いじめ・ヤングケアラー・発達障がい等の言葉が浮かびました。地域の中で悩んだり不安に思うお子さんや保護者が居ても直接関わることは難しいですが「つながり」ように心がけて活動したいと思います。

白板地区

白板地区

民生委員・児童委員協議会

主任児童委員 赤堀 順子

私が、主任児童委員となり3ヶ月になります。主任児童委員の役割については、よくわからず戸惑うこともあります。

何回かの研修会や、同じブロックの主任児童委員の方々と話し合いを通して領けることも多くなってきました。

過日行われたオンライン情報交換会では、長野県内19市町村175人の主任児童委員が集まりリモート会議がありました。各地域の主任児童委員からは、地域として困っていることや、仕事をされている主任児童委員から仕事しながらの大変さなどの意見が出され意見交換が行われました。

リモート会議に参加して、各地域の主任児童委員の皆さんが、困った悩みながらも真剣に職務に向かい合っているお姿に心を撃たれパワーをいただきました。

初めての赤ちゃん訪問では、若いご夫婦が赤ちゃんを愛しむ姿に心が和みました。出産後のお母さんの育児に対する不安感や悩みなどでお母さんが孤独にならないよう安心して子育てができるような子育て支援活動をさせていただきたいと思っています。

また、白板地区の子育て支援事業として月一回行われている「ハッピーキッズ」では、参加されるお母さんとお子さんの憩いの場となるよう楽しい企画を計画しております。

まだまだ主任児童委員として歩み始めたところですが、私が今できることは地域の皆さんに主任児童委員として伝えていきたいことを私から丁寧に発信し、出遇いを大切にしたいと思っています。

「つながり」を焦らず一

歩ずつ地域の民生児童委員の皆さんと共に歩んで行きたいと思っています。



連載

今回のニューフェイス

1期目の民生委員・児童委員さんにお話を伺いました。

鎌田地区

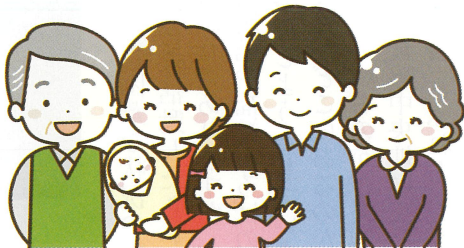
民生委員・児童委員協議会

上條 美紀

「私のような者には民生委員の仕事は務まりません。」と町会長に一度はお断りしました。しかし、町内の高齢化、人口減少により役員のなり手がなく、私がお引き受ける事となりました。

20年介護の仕事に携わらせて頂き、日々高齢者の方々と触れ合う機会があります。しかし、仕事上関わる利用者様は要介護状態で、皆様のお元気な時を知り得る事は難しいです。この民生児童委員の活動を通して、町内の高齢者の方と接する事が出来るのはとても有り難いです。

実際に足で町内を歩くうちに空き家が多い事に気付きました。相続の問題などがあるようですが、どうにか上手く活用して若い世代のご家族に住んで頂けないか?と思うようになりました。今の中条南町会・中条町



町会ちやうかいは、このままでは町会としていずれ成り立たなくなってしまう。それを食い止める策が必要なのです。何が得策なのか見当も付きませんが、時間がかかる事は確かですし、始めなければ何も変わりません。

高齢者へのケア、子育て支援は日本全体の問題でもあります。がこの小さな町会に置き換えても同じような気がします。町内の方々と力を合わせて乗り越えて行けたらと願っています。

民生委員の役割を通してさらなる勉強の機会が頂けたと捉えて、活動して行きたいと思っています。

よろしくお願いします。



地元の銭湯 富士の湯さんで百歳体操を行いました。

第二地区
〈富士の湯 銭湯サロン〉
3月15日

フォトギャラリー

さまざまな活動の様子を写真でお伝えします。



満開の桜の中ウォーキングを楽しみました。

安原地区
〈4月のウォーキング〉 4月3日

民生委員・児童委員 活動事例

中央地区

中央地区

民生委員・児童委員協議会

会長 荒井 忠幸

中央地区は松本城を取り囲む16町会で成り立っています。かつては地区内に映画館7軒を数え、商店や飲食店が立ち並び、松本一繁華な界限でありました。

それも一時昭和のこと、時代は移り、流通形態が変わり、生活様式が変わり、街の様相も変わりつつあります。空地や駐車場が散見されるようになり、「こんな所からお城が見える」と思うようなこともしばしば。「時が流れる、お城が見える」というような古い西洋人の詩句がちよつと思ひ浮かびます。

このような街区の変容は住民の生活にも影響を及ぼし、古くからの住民は高齢化し、新しい住民はアパートやマンションに住み、新たな人間関係が生まれにくいという中で、町会長や民生委員の引き受け手を探すのにも苦労するようになり、「分断と孤立」が進みつつあるようです。近年は市庁舎の拡張や松本城の外濠復元事業もそれに拍車をかけているように見えます。新型コロナウイルスの影響の大きいことも言うまでもありません。

活動事例

さて、そのような困難な状況の中で、民生児童委員はどう活動したらいいのか、困惑するばかりであります。私の場合、まずは公民館や福祉ひろばの行事にできるだけ参加しようとしています。それまでは公民館がどこにあるのか、福祉ひろばが何をしているのかさえ知らなかったのですが、社協中央地区支会主催の「松本城お花見会」「ふれあい会食会」「ふれあい祭り」のほか、居酒屋公民館など地区の行事に参加し、人との関わりを持つと努めております。

民生委員の本来の活動、担当地区の見守りの役を果たしていないのではないかと、いう反省もあります。友愛訪問で高齢者宅に訪問したりしてはいますが、それが有効な活動であるという実感は持てていません。まずは顔見せして存在を広く知ってもらおう意義はあると思いますが、というふうなわけで、はなはだ心もとない報告になってしまいました。何をどうしたらいいのか暗中模索であります。が、地区会長研修でしたか、研修会の講師の言葉の中に「まず『する』ことから始めよう」という標語がありました。「何をどう」と考える前にまず歩き始めようと言うことだと理解しました。今まではほとんど歩いてみたこともなかった町内をまず歩いてみる、こんなことから始めてみたいと思っています。

島立地区

〈南栗町会歓送迎会〉 3月23日



寿地区

〈寿地区192(いくじ)サロン 子連れコンサート〉 3月6日



コロナ禍で何度も延期になりましたがやっと開催することができました。

〈福祉ひろば視察研修〉 12月1日



〈出前ひろばミニコンサート〉 1月14日



二期目の充実した活動を目指して

島立地区

島立地区

民生委員・児童委員協議会

副会長 上條 貴志子

民生・児童委員一期目のスタートは、2019年の12月でしたので、2020年の年明けからは、コロナ禍の行動制限の中、計画されていた研修会は次から次へと中止となり、定例会が実施されない月も多くありました。このような状況の中で、どんな活動をすれば良いのか、途方に暮れました。自分なりに思いつくこと、出来ることをやろうと、手探り状態ですが、少しずつ動き出すことにしました。包括だよりの下の余白に、「梅の花が咲き始め、春を感じる季節になりました。お変わりありませんか」のような一行レターを書くことにしました。お電話をいただいたり、楽しみにしていると云ってくださる方もいます。

「福祉ひろば」の活動に参加して、スタッフの方々とのお話からも多くのことを学びました。町内会の活動も停止されましたが、屋外の夏休みラジオ体操等で、地域の子どもさんたちとの交流もできました。

2年目からご一緒した町会長さんは、民生・児童委員の経験者なので、活動へ

の理解が深く、積極的な協力を得られました。中でも地域住民の安心・安全に重点を置いた町会運営として、常会ごとのふれあい安心ネットワーク会議（常会長・班長・町会長・民生児童委員・地区生活支援員・社協担当者）では、近隣相互の情報交換と日常的な気づき、助け合いの意識を再確認し合うことができました。社会福祉協議会から提案されている「ささえあいマップ」づくりも開始されたので、町会の自主防災計画・組織に反映されることとなります。

ボランティアグループを中心に活動している「百歳体操」は、コロナ禍の時も状況を見ながら活動を継続してきました。日常生活が戻りつつある今、活動計画の見直しをしながら、更に充実させていきたいと思っています。地域の子どもさんへのアプローチの一つとして、松本市の花いっぱい運動につながる、町会の花壇づくり活動への参加を呼びかけて、植栽から始めています。個人的には、登校時の声かけと見守り、小学校の学習支援ボランティア、島立寺子屋事業への参加等を通じて、子どもさんたちとの交流を楽しんでいます。地域のつながりの再構築の一助となる活動を目指して、二期目がスタートしました。

中央地区

〈中央地区お花見会〉 4月8日



1期目研修、2期目以上研修が行われました。

1期目研修、3月24日・27日

2期目以上研修、3月29日



寿地区

寿地区

民生委員・児童委員協議会

副会長 片桐 博人

寿地区民児協では、日頃の見守り等の活動のほか、地区福祉ひろば推進委員としてひろば職員らとともに様々な事業や学習会を開催し、地域のみなさんが笑顔で健康に過ごすための居場所づくりを行っています。また地域包括ケア会議から在宅で高齢者を看ている御家族の方々の相談や息抜きの場所として福祉ひろばを活用し「オレンジ喫茶のほな」を開催したりもしていました。他にも地区公民館、各町会、地域づくり協議会等と連携し、「赤ちゃんから高齢者まで全ての住民が安心して安全にいきいき暮らせる寿らしい住みよい地域の構築」をスローガンに地域のみなさんと密接して活動しております。

核家族化で育児不安を抱える方の子育て支援と民児協中心に立ち上げた「子育て支援192（いくじ）サロン」、「子供は寿の宝」を合言葉に地域ぐるみで子ども達の健全育成を支援する「学校応援団」、また中学生の地域への

参加・貢献を掲げる「コミュニティスクールふたむら」等の事業も盛んに行っていました。地区の行事やボランティア活動にも多くの生徒たちが地域住民とともに積極的に参加してくれています。

こうして幼児期から児童、生徒への各段階で地域とともに関わり育成していくことで、地域づくりの大きな柱になつていくことを願っています。

また寿には多くの高齢者や障がい者の福祉施設があります。そこに生活している方も同じ寿の住民として繋がりがもてるよう「福祉の文化祭」等を通じて交流を深めています。

この三年間はコロナ禍による様々な制限がある中で、地域の人と人の繋がりをどうすればいいのか悩みに悩みました。

福祉ひろば、町会、行政機関等と連携し、感染予防対策をしながら、開催場所や日程を分散し、人数制限を設け、健康づくりやミニコンサートを主に少しずつですが人が集まり笑顔のみられる居場所づくりが戻ってきております。

地域の中で人と人が繋がりがお互い支え合える共助の構築の手助けになれるようこれからも微力ながら邁進していきたいと思っています。

つばやき

第一地区民生委員・

児童委員協議会

井上 真由巳

12月から「民生さん」をお引き受けして4ヶ月。大雪の時には、町会のお年寄りの方々が無事に過ごせていらつしやるかに思いを寄せる日々を過ごしました。3月から再開された「こんにちは赤ちゃん事業」で、小さな赤ちゃんを育てているご夫婦とお話しました。「民生委員・児童委員」という立場になったことで、地域の方と触れ合う機会や関わるが増え、わくわくしています。たくさんの人たちと出会えることが楽しみです。

編集後記

昨年12月に、民生委員・児童委員になって広報部を分担して、この「ふれあい87号」の発刊に加わらせていただきました。

「リエゾン」というフランス語があります。「仲介」「つなぎ」という意味でしょうか。民生委員・児童委員の役割ではないかと、思っています。

そしてこの「ふれあい」をお読みいただく皆様が、ご自分とつながっていると思っていたら、「リエゾン」が、どんどん広がっていくのではないのでしょうか？

良い季節になってきました。ぜひ地域の交流会に出かけください。

(H・K)



皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。取り上げてほしいテーマなどがございましたら

たから事務局までお知らせください。
TEL (27) 3381
FAX (27) 2239